



足の血管のカテーテル治療を受けられる患者さんへ (大腿動脈穿刺用)

月日 項目	治療前日	治療当日 (/) ※ () 例目		治療翌日
	/	治療前	治療後	/
目標	積極的に治療に参加できる。	安全、安楽な状態で治療を受けることができる。	指示された安静を守ることができる。 気分不良や穿刺部の出血・痛みがあれば看護師に知らせることができる。	退院後の生活の注意点がわかる。
治療薬剤処置 リハビリ	内服の継続・中止については医師の指示に従ってください。 足背の動脈のところに印を付けます。医師の指示があれば鼠径部の毛ぞりを行います。	検査着に着替えて、時計、めがね、指輪、入れ歯等は、はずしてください。医師の指示があれば弾性ストッキングを装着します。血管造影室で点滴を行います。	翌朝まで点滴は続けます。出血防止のため、穿刺部を圧迫します。圧迫している方は曲げないでください。治療直後とその後30分～1時間おきに血圧測定や状態の観察を行います。 治療後、翌朝まで心電図モニターを装着します。	傷口を消毒し、保護テープへ貼りかえます。保護テープは就寝前までに外しましょう。テープを長時間貼っていると皮膚トラブルの原因となります。
検査	採血 ABI(足関節上腕血圧比)	治療は2階の血管造影室で行います。 治療へは車椅子またはベッドで行きます。	治療中、気分が悪くなったときは医師、看護師にお伝え下さい。治療後はベッドで病室へ戻ります。	採血 ABI(足関節上腕血圧比)
活動・安静度	医師の指示範囲内で自由に行動できます。	病棟内にいるようにして下さい。	帰室8時間後に圧迫を除去し、寝返りができます。安静時間は変更になることがあります。	治療後問題なければ、病棟内を自由に歩けます。
食事 (栄養士の指導も含む)	特別な栄養管理の必要性【有・無】 減塩食 ※1日塩分6gです。 	午前の治療:朝食はありません。 午後の治療:昼食はありません。 ※水分はしっかりとってください。	吐き気などがなければ治療終了後より食事ができます。	減塩食
清潔	入浴できます。	入浴できません。		入浴できます。入浴する際は入浴前に保護テープを外しましょう。
排泄	特に制限はありません。	治療前に尿の管を入れます。 		朝、傷口に問題なければ、安静解除時に尿の管を抜きます。
説明	主治医が治療の説明をします。ご家族の方も一緒に聞いて下さい。 その後看護師が治療の説明をします。 入院中、必要に応じて薬剤師が薬の説明をします。	※バスタオルを1枚準備して下さい。 ご家族の方はデイルームでお待ち下さい。	主治医が治療の結果をご本人、ご家族に説明します。	